

はじめに

「生物多様性センター自然環境調査目録（2019年版）」は、自然環境保全基礎調査をはじめ、生物多様性センターが実施した各種自然環境調査の概要を平成 31（2019）年 3 月時点でとりまとめたものです。

生物多様性センターは、平成 7（1995）年に初めて策定された生物多様性国家戦略を受け、我が国の生物多様性保全に関する情報の中核的拠点として、平成 10（1998）年に山梨県富士吉田市に設置されました。生物多様性センターでは、自然環境保全法第 4 条に基づく自然環境保全基礎調査やモニタリングサイト 1000 の実施、生物多様性情報システム（J-IBIS）の運営のほか、海外からの研修生受け入れ等の生物多様性に関する「調査」「資料収集」「情報提供」「国際協力」等に係る取組を推進しています。

平成 24（2012）年 9 月に策定された生物多様性国家戦略 2012-2020 では、生物多様性センターが中心となって広範なネットワークを構築し、生物多様性の状況を科学的に評価するための基礎となる生物情報や標本等を収集して利活用できるよう整備する必要性が述べられています。また情報収集の効率化や情報の共有化を行うため、自然環境行政や調査研究に関わる専門家、関係省庁、都道府県、NGO 等各方面の間で連携が求められています。

本目録を手引きとしながら、生物多様性センターの調査成果が我が国の生物多様性保全に係る基礎的情報として、自然環境行政や調査研究等に関わる各方面に幅広く活用されることを期待しています。

平成 31 年 3 月

環境省自然環境局生物多様性センター